



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月31日

上場会社名 株式会社アドウェイズ 上場取引所 東
 コード番号 2489 URL https://www.adways.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理担当 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-5331-6308
 四半期報告書提出予定日 2018年8月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	11,443	7.0	411	153.7	318	106.4	193	—
2018年3月期第1四半期	10,694	2.3	162	—	154	—	△54	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 106百万円(—%) 2018年3月期第1四半期 △91百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益 又は1株当たり 四半期純損失(△)	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	5.00	5.00
2018年3月期第1四半期	△1.41	—

(注) 1. 2019年3月期第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率については、2018年3月期第1四半期が親会社株主に帰属する四半期純損失のため、記載していません。

2. 2018年3月期第1四半期の売上高を除く各項目の対前年同四半期増減率については、2017年3月期第1四半期が営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失のため記載していません。また、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	18,655	11,024	58.4	281.16
2018年3月期	17,901	11,022	60.8	281.05

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 10,895百万円 2018年3月期 10,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	2.35	2.35
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	0.00	—	2.40	2.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	1.2	500	67.0	500	△13.2	190	—	4.90

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、記載を省略しております。
 3. 1株当たり当期純利益は、第1四半期末の自己株式を除いた発行済株式数である38,750,700株を期中平均株式数と仮定して算出しております。
 4. 親会社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率は、1,000%以上となるため記載しておりません。
 5. 詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	41,588,500株	2018年3月期	41,588,500株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	2,837,800株	2018年3月期	2,837,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	38,750,700株	2018年3月期1Q	38,745,742株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で配布する資料は、開催日同日に当社ウェブサイト（<https://ir.adways.net/>）にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年6月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、前年同期に対して売上高は増収、利益におきましては大幅な増益となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (2018年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (2019年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	10,694,332	11,443,967	749,634 (7.0%)
営業利益	162,202	411,556	249,353 (153.7%)
経常利益	154,456	318,857	164,400 (106.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△54,583	193,827	248,410 (—)

売上高は、国内の広告事業が順調に推移したことにより749,634千円増加し、11,443,967千円(前年同期比7.0%増)となりました。

営業利益は、売上高が増加したことにより411,556千円(前年同期比153.7%増)、経常利益は、営業利益が増加したことにより318,857千円(前年同期比106.4%増)となりました。

税金等調整前四半期純利益は、関係会社株式及び投資有価証券売却益を計上し385,866千円(前年同期比787.5%増)となりました。

上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等を計上したことにより193,827千円(前年同期は54,583千円の損失)となりました。

[報告セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

			前第1四半期 連結累計期間 (2018年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (2019年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
外部 売上高	①広告 事業	スマートフォン 向け広告	4,551,012	5,464,958	913,945 (20.1%)
		PC向け広告	4,663,258	4,774,366	111,107 (2.4%)
		合計	9,214,271	10,239,324	1,025,053 (11.1%)
	②アプリ・ メディア 事業	アプリ事業	68,109	20,325	△47,783 (△70.2%)
		メディア事業	112,620	129,369	16,749 (14.9%)
		合計	180,729	149,695	△31,034 (△17.2%)
	③海外事業		1,298,423	1,049,083	△249,339 (△19.2%)
④その他		908	5,864	4,955 (545.3%)	
セグメント利益 又は セグメント損失 (△)	①広告事業		658,366	814,017	155,650 (23.6%)
	②アプリ・メディア事業		△26,686	△65,894	△39,207 (—)
	③海外事業		△60,752	397	61,149 (—)
	④その他		△65,451	△47,263	18,187 (—)

当第1四半期連結会計期間より従来、グローバル展開を想定するプロダクトの開発及び運営並びにサービス提供に係る事業は「海外事業」セグメントとしておりましたが、広告関連事業の管理区分の見直しに伴い国内提供に係る事業を「広告事業」、海外提供に係る事業を「海外事業」に含めて開示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

①広告事業

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告サービス「AppDriver」、「UNICORN」や、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」を中心に、インターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第1四半期連結累計期間における広告事業のスマートフォン向け広告は、既存の国内広告事業のサービスが伸長したこと、昨年5月にリリースいたしました「UNICORN」が堅調に売上高を伸ばしていること等により、売上高は5,464,958千円(前年同期比20.1%増)となりました。

PC向け広告は、金融関連企業の広告取引が堅調に推移するとともに、スマートフォンブラウザを介したweb売上高が増加したことにより、売上高は4,774,366千円(前年同期比2.4%増)となりました。

この結果、広告事業の売上高は10,239,324千円(前年同期比11.1%増)、セグメント利益は814,017千円(前年同期比23.6%増)となりました。

なお、スマートフォン向け広告は主にアプリ向け広告の売上高で、スマートフォンブラウザを介したweb広告の売上高はスマートフォン向け広告ではなく、PC向け広告に含まれております。

②アプリ・メディア事業

アプリ・メディア事業は、主にスマートフォンアプリの開発・運営を行うアプリ事業と、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいて土業向けのポータルサイト等のメディア運営等を行っているメディア事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におけるアプリ事業は、「古の女神と宝石の射手」等の自社グループタイトルのゲームアプリの売上高が減少したことにより、売上高は20,325千円(前年同期比70.2%減)となりました。

また、メディア事業は、株式会社サムライ・アドウェイズにおいて行っているメディア事業が堅調に推移したことにより、売上高は129,369千円(前年同期比14.9%増)となりました。

この結果、アプリ・メディア事業の売上高は149,695千円(前年同期比17.2%減)、セグメント損失は65,894千円(前年同期は26,686千円の損失)となりました。

③海外事業

海外事業は、中国・香港・台湾・韓国・米国・シンガポール・インドにおいて、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間における海外事業は、前連結会計年度から推進している各国子会社の組織体制と連携の見直しにより、売上高は1,049,083千円(前年同期比19.2%減)となりました。しかしながら前述の施策により販売費及び一般管理費が抑制できたことから、セグメント利益は397千円(前年同期は60,752千円の損失)となりました。

④その他

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第1四半期連結累計期間におけるその他については、売上高は5,864千円(前年同期比545.3%増)と増加し、セグメント損失は47,263千円(前年同期は65,451千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2018年6月30日)	対前期末増減額 (増減率)
資 産 合 計	17,901,807	18,655,501	753,694 (4.2%)
負 債 合 計	6,878,903	7,631,047	752,144 (10.9%)
純 資 産 合 計	11,022,904	11,024,453	1,549 (0.0%)

[資産合計]

- ・流動資産は前連結会計年度末より839,263千円増加し16,034,847千円となりました。主な要因は、現金及び預金が476,582千円増加したこと並びに受取手形及び売掛金が295,508千円増加したことによるものであります。
- ・固定資産は前連結会計年度末より85,568千円減少し2,620,653千円となりました。主な要因は、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が60,710千円減少したこと、並びに投資その他の資産のその他に含まれる差入保証金が24,364千円減少したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より768,510千円増加し7,499,892千円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が397,664千円増加したこと、未払法人税等が174,888千円増加したこと、その他に含まれる未払消費税が105,725千円増加したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より16,365千円減少し131,155千円となりました。主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債が14,855千円減少したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より1,549千円増加し11,024,453千円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が81,551千円、その他有価証券評価差額金が29,186千円減少したものの、利益剰余金が115,204千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが主に手掛けておりますインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸長を続けるものと思われれます。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。

当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携等を行うことで、取引の拡大と売上高の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。また、アジアをはじめとした海外においては、スマートフォンアプリ向け広告サービスの拡大を引き続き見込んでおり、各国の市場環境を鑑み、事業展開を行ってまいります。

このような状況のもと、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の売上高は、42,000百万円を見込んでおります。

営業利益は、売上高の増加により500百万円を見込んでおり、経常利益500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は190百万円を見込んでおります。

なお、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別の業績予想並びに第2四半期連結累計期間における連結業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,491,272	9,967,855
受取手形及び売掛金	5,543,958	5,839,467
たな卸資産	4,901	3,274
その他	451,033	518,815
貸倒引当金	△295,581	△294,564
流動資産合計	15,195,584	16,034,847
固定資産		
有形固定資産	299,630	256,963
無形固定資産		
のれん	101,859	94,762
その他	235,972	274,628
無形固定資産合計	337,831	369,390
投資その他の資産		
その他	2,243,606	2,164,798
貸倒引当金	△174,845	△170,499
投資その他の資産合計	2,068,760	1,994,299
固定資産合計	2,706,222	2,620,653
資産合計	17,901,807	18,655,501
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,204,945	5,602,610
未払法人税等	34,548	209,437
その他	1,491,887	1,687,843
流動負債合計	6,731,381	7,499,892
固定負債		
その他	147,521	131,155
固定負債合計	147,521	131,155
負債合計	6,878,903	7,631,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,605,955	1,605,955
資本剰余金	7,280,768	7,280,768
利益剰余金	2,689,686	2,804,890
自己株式	△1,406,575	△1,406,575
株主資本合計	10,169,835	10,285,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	339,466	310,279
為替換算調整勘定	381,396	299,845
その他の包括利益累計額合計	720,863	610,124
新株予約権	5,034	5,034
非支配株主持分	127,171	124,255
純資産合計	11,022,904	11,024,453
負債純資産合計	17,901,807	18,655,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	10,694,332	11,443,967
売上原価	8,839,707	9,326,125
売上総利益	1,854,624	2,117,841
販売費及び一般管理費	1,692,421	1,706,285
営業利益	162,202	411,556
営業外収益		
受取利息	4,639	2,204
貸倒引当金戻入額	7,581	1,631
消費税等免除益	7	1,509
その他	5,512	9,177
営業外収益合計	17,740	14,522
営業外費用		
投資事業組合運用損	6,326	884
為替差損	11,680	12,397
持分法による投資損失	7,233	92,992
その他	246	947
営業外費用合計	25,486	107,221
経常利益	154,456	318,857
特別利益		
関係会社株式売却益	—	63,614
投資有価証券売却益	—	34,045
特別利益合計	—	97,659
特別損失		
関係会社株式評価損	8,180	—
投資有価証券評価損	95,082	30,387
固定資産除却損	7,714	263
特別損失合計	110,976	30,650
税金等調整前四半期純利益	43,479	385,866
法人税、住民税及び事業税	86,362	192,258
法人税等調整額	4,879	△1,973
法人税等合計	91,242	190,284
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,762	195,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,821	1,754
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,583	193,827

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,762	195,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,495	△29,186
為替換算調整勘定	△18,264	△59,592
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△165
その他の包括利益合計	△43,759	△88,945
四半期包括利益	△91,522	106,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,296	109,552
非支配株主に係る四半期包括利益	9,773	△2,915

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産を投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債を固定負債の区分に表示しております。

(確定拠出年金制度の導入)

当社及び国内連結子会社において福利厚生の一環として、2018年4月より確定拠出年金制度を導入いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	9,214,271	180,729	1,298,423	10,693,423	908	10,694,332	-	10,694,332
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	191,839	1,172	37,610	230,621	10,575	241,197	△241,197	-
計	9,406,110	181,902	1,336,033	10,924,045	11,484	10,935,529	△241,197	10,694,332
セグメント利 益又は損失 (△)	658,366	△26,686	△60,752	570,926	△65,451	505,475	△343,272	162,202

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△343,272千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	10,239,324	149,695	1,049,083	11,438,103	5,864	11,443,967	—	11,443,967
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	219,522	950	33,323	253,796	30,169	283,965	△283,965	—
計	10,458,847	150,645	1,082,406	11,691,899	36,033	11,727,932	△283,965	11,443,967
セグメント利 益又は損失 (△)	814,017	△65,894	397	748,519	△47,263	701,255	△289,699	411,556

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△289,699千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間より従来、グローバル展開を想定するプロダクトの開発及び運営並びにサービス提供に係る事業は「海外事業」セグメントとしておりましたが、広告関連事業の管理区分の見直しに伴い国内提供に係る事業を「広告事業」、海外提供に係る事業を「海外事業」に含めて開示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。